

学びの軌跡

～挑戦と成長～

～認めあう学年～

学年通信 第23号

令和5年7月13日

発行者：春名 将之

岡山学芸館高校と合同で、「聞き書き」学習を行いました。

7月10日(月)の5・6時間目を使い、日生町漁協で聞き書き活動を行いました。聞き書き活動は、総合的な学習の時間の地域(海洋)学習の一環で行われています。日生の海や町に関わる仕事をしている方に、「どのような仕事をしているのか。」「日生や海にどんな想いをもっているのか。」「今の中学生に期待していることは何なのか。」など、インタビュー形式で話を聞く活動になります。事前に、共存の森ネットワークの吉野さんから、「上手にインタビューを行う方法・聞き書き活動を成功させる方法」を伝授していただき、質問を事前に考え当日に臨みました。実際にインタビューを行うと、想定していた流れ通りに進まない場面もありましたが、日頃知ることのできない情報をたくさん聞くことができました。また、学芸館高校の人が上手に答えに対して切り返し発問をしている場面もあり、高校生から学ぶこともたくさんあったようです。この聞き書き活動でインタビューした内容は、2学期初めにまとめスライドを作り、1年生へ発表する計画になっています。また、11月にある学校公開日でも発表する予定になっています。

(ひなビジョン・RSKが取材に来られました。ひなビジョンは今週中に放送があります。RSKは海と日本PROJECTの中で放送がある予定です。)



「聞き書き」学習生徒の感想より



- 今回の聞き書きでは、カキ漁師の磯本さんのお話を聞きました。1番心に残っていることは、「日頃心掛けていることはなんですか?」という質問に対する答えです。磯本さんは「1番はお客さんに安心安全な牡蠣を食べてもらうこと。良いものをお客さんに提供すること」とおっしゃっていました。自分のことではなく、1番目にお客さんのことを考えている姿が格好良かったです。聞き書きを通して、日生の知らないことをたくさん知ることができました。今日知ったことを、多くの人へ伝えていきたいです。
- 日生に長く住んでいて日生のことは結構知っていると思っていたけれど、全く知らないことが多くあり、びっくりしました。話を聞いて面白いなと思ったので、日生のことをもっと知りたいと思いました。お話で聞いたことを基に、自分たちができることを考え、日生を大切にしていきたいと思いました。
- 今回の聞き書きで、普段生活しているだけでは知れないような話をたくさん聞いて良かった。これから生きていく中でとても役立つようなことまでできてよかった。また、人に質問することや人の話を聞くことの難しさが分かりました。今回の聞き書きがとても自分のためになったと思います。